

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			/
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	備品・消耗品 資料費	費 金 額	円 16,200
内 容	コピーリース代(8月分)		
支 払 先	神鋼リース(株)	支払年月日	平成28年 9月27日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く） 裏面に貼付			

領 収 書



No. 00004653

志政加古川 玉川 英樹

様

2016 年 9 月 27 日

下記金額正に領収致しました。

取引種類	契約番号	領収回数	総支払回数	リース料等	消費税額等	区分	備 考
リース		22	36	15,000	1,200	A3	DocuCentre-V C2275PFS-PC 1 リース料
計				15,000	1,200		領収金額合計 ￥16,200.-

(ご説明) 1.消費税額等は、消費税と地方消費税の額の合計額です。

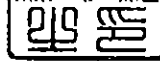
2.区分 A2:課税(5%) A3:課税(8%) A4:課税(10%) B:非課税 D:対象外 E:輸出免税

〒675-0131

兵庫県加古川市別府新野辺畑下

1525-1000 神鋼ビル2階

神鋼株式会社



加古川営業所長

照会先電話番号

079-437-9536

A74-06

収入印紙

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			2
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	費 金 額	円	
	資料作成	21,708	
内 容	コピー代 3,045枚(8月分)		
支 払 先	富士ゼロックス兵庫(株)	支払年月日	平成28年 9月30日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること(書類が多い場合は裏面に続く)			

領 収 証

FX16-1030006

(志政加古川 様

金額 ￥21,708 ※

収
入
印
紙

但し 請求書通り

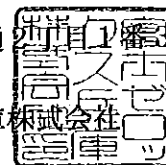
平成 28 年 09 月 30 日

上記の金額正に領収いたしました。

現金・小切手	¥	※
振 込	¥	※
手形・相殺	¥	※
計	¥	21,708 ※

神戸市中央区浜辺通

富士ゼロックス兵庫



扱 者 印



(本証に社印および扱者印の無いもの、並びに金額の訂正したものは無効です。)

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号 3
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	資料購入 費	金 額	円 1,396
内 容	書籍購入 森裕之著「公共施設の再編を問う」		
支 払 先	(株)自治体研究社	支払年月日	平成28年10月3日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。	口座記号番号											払込 金 入 金 印
	加入者名	株式会社 自治体研究社										
	金額	千	百	十	万	千	百	十	円			
					¥	1	3	9	6			
	ご依頼人	加古川市議会 玉川英樹 様										
	料 金	日 附 印 28-10-03 加古川 郵便局										
	備 考	(43016) N94280010										

この受領証は、大切に保管してください。

675-8501

加古川市加古川町北在家2000

加古川市役所 加古川市議会

玉川英樹 様

請 求 書

株式会社 自治体研究社

162-8512

東京都新宿区矢来町123

矢来ビル4F

TEL03-3235-5941

FAX03-3235-5933

代表取締役 福島 譲

下記の通り請求申し上げます。

合計金額 ￥1,396-

お客様コード	伝票発行日	伝票番号	区 分	担当者名
	2016/09/26	00006486	掛売上	

No.	品 名	数 量	単 位	単 価	正味	金 額 (税込)	摘 要
31513	公共施設の再編を問う	1		1,200	1,000	1,296	
11001	送料 (単行本)	1		100	1,000	100	
		合計	2		1,300	96	1,396

経理要領 様式第1号

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			4
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	費 金 額	33,520 円	
	研修		
内 容	第78回全国都市問題会議		
支 払 先		支払年月日	平成28年10月6日
備 考	出席者負担金(20,000円)については、第2四半期に計上済。		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

出張調査届

平成28年 / 0 月 3 日

市 議 会 議 長 様

会派名 志政加古川

代表者 木谷 万里

このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

木谷 万里 織田 正樹

調査都市名及び調査内容

第78回全国都市問題会議 (岡山県岡山市中区門田本町4-1-16)

出張期間 平成28年10月6日(木)～10月7日(金)(2日間)

旅 費 内 訳	日 当 (単価 円 日分)	円	経 路
	宿 泊 料 (単価 円 日分)	円	加古川駅
	鉄 道 賃 (1,940円 × 4)	7,760 円	姫路駅
	急行料金 (2,250円 × 4)	9,000 円	岡山駅
	航 空 賃 ()	円	会場
	車 賃 ()	円	復路及び2日目も同一
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 (10,000円)	10,000 円	
	そ の 他 ()	円	
	合 計	26,760 円	

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。
26,760円×2名=53,520円



出張調査研修報告書

平成28年11月2日

市議会議長様

会派名 志政加古川

出張者氏名 木谷 万里

織田 正樹

下記のとおり報告します。

日 程	平成28年10月6日、7日		
視 察 先	岡山市（岡山国際ホテル）		
視察（調査）事項	第78回 全国都市問題会議		
	人が集いめぐるまちづくり 国内外にひらかれた都市の活力創出戦略		
復命事項（所見及び感想）	別紙		
出張に伴う経費の精算	前 渡 金 額 53,520 円		
	精 算 額 53,520 円 過 不 足 額 0 円		

※報告者が議員の場合は、出張者氏名欄に記入のこと。

第78回全国都市問題会議参加報告書

志政加古川

織田 正樹

人が集いめぐるまちづくり

—国内外にひらかれた都市の活力創出戦略—

日程：平成28年10月6日（木）・7日（金）

場所：岡山市 岡山国際ホテル

10月6日

1、基調講演

「まちの見方、見つけ方」 ドイツ文学者、エッセイスト

池内 紀

四季があり、山と川がある日本。色々な“まち”の風景があり顔がある。その“まち”を見つけ、知るには、タクシーやバスに乗車し運転手や乗客から“まち”の情報を得ることが重要である。その情報により、その“まち”が、人と歴史が作り上げた古い街並みや伝統をどのように生かしたまちづくりが出来ているかを見つける事が出来る。このことこそが“まち”の見方であり見つけ方である。



2、主報告

「人口減少社会における都市の活力創出」 岡山県岡山市長 大森 雅夫

岡山市の課題としては、東京圏への人口流失を防ぎ、若い世代の地元への定着を図るためには、地域経済の活性化と雇用の創出が不可欠である。そのためにまちの新たな魅力の創出と情報発信力の強化を図っていく必要がある。その取り組みは、岡山、広島、高松、松山とともに瀬戸内ブランドとしての観光客の誘致を推進する。中心地の賑わい創出のため、路面電車の駅乗り入れや自転車先進都市として、自転車のシェアといえる、コミュニティサイクル「ももちゃり」の導入により、車優先から人優先のまちづくりへと転換を進めている。また、女性の活躍推進のため、岡山市イクボス宣言を行ったり、健幸ポイントをスタートさせ市民の健康づくりの推進を図っている。これらの取り組みにより、住みやすさに磨きをかけさらに、活力と躍動感あふれる都市づくりを進めている。

自転車共同利用の「ももちゃり」は加古川のまちにも取り入れられる施策であり、健幸ポイントプロジェクトは、当市において「ウエルビーポイント制度」の今後の運用に学ぶべき点もあると感じた。

3、一般報告

◎「人を惹き付ける都市空間とその文化力」 法政大学教授 陣内 秀信

都市の成り立ちはどこも一緒ではないので、まちづくりには多様性が求められる。既存の都市の再評価により、都市の特徴を生かし、都市を文化財保存することからポテンシャルのある、歴史や文化を生かしたまちづくりへの返還を図るべきである。まず、水辺空間を交流や市民の広場としての空間として再生することが、まちづくりの最先端である。さらに、自らのまちは、他都市の真似をする事でなく自らがつくるしかない。地形や歴史を、地域資産を活かした個性あるまちづくりが望まれる。

◎「交流とにぎわいのまちづくり」 奈良県橿原市長 森下 豊

奈良県と連携し、県全体として、総合力が発揮できる都市『奈良モデル』の推進。大和八木駅周辺、奈良県立医大周辺、橿原神宮前駅周辺をにぎわいや観光の拠点と雇用の創出を図る。

◎「革新的サイバニックスシステムによる社会変革・未来開拓への取り組み」

筑波大学教授、サイバニクス研究センター長 山海 嘉之

少子超高齢化が直面する課題として、機能改善や支援技術等の革新的技術の研究開発と実用化に取り組み、Society5.0を重点的に進める。サイボーグ型ロボット HAL やロボットスーツの開発を通して、重介護ゼロの社会への挑戦トメディカルマーケットへ医療、産業を輸出する。人支援技術産業と言う新しい産業分野に於いて、健康長寿、自立社会に向けたイノベーション技術と人材育成。この事業を進めていくには、さらに自治体や政府の理解と支援が必要である。

遠い未来のことと考えていた、ロボットによる医療の補助や介護が現実化しつつあるのは、衝撃的であった。

人が集いめぐるまちづくりについて

① “まち”とは何か―集いの場としての多様な“まち”―

都市は多様であり、古い都市に新しい都市が重ねられて現在に受け継がれて来たもので、それは都市が歩んできた歴史である。各都市の抱えている課題の解決は、それぞれの都市の歴史や形態、実情を踏まえた物でなければならない。

② 都市は何によって形成されるか―集いめぐる場としての意義―

都市とは、人やモノや情報が集い、集まり、人と人が行き交い、コミュニケーションし、さらにそこで経済活動を行い、都市の活力を創出する源泉である。

③ 都市を取り巻く変化

少子超高齢社会の到来により、高齢者の中には、郊外の自動車利用生活をやめ中心市街地へ転居する。郊外への拡大から都心への回帰が進んでいる。また、労働力減少の緩和のため、女性や高齢者が働きやすい環境づくりが不可欠である。

④ 人が集いめぐるまちづくりのために

どのような都市を目指すのかは、多様な人々が集まって様々な活動を行う、生きたまちをいかに作るかが重要である。

加古川市が「活力のあるまち」であり続けるため、何が必要であるか議論をする上で、大いに参考になった。

10月7日

パネルディスカッション

「人が集いめぐるまちづくり

—国内外にひらかれた都市の活力創出戦略—

コディネーター 東京大学教授 西村 幸夫

パネリスト

中央大学教授 工藤 裕子

エリア・イノベーション・アライアンス代表理事 木下 斉

ファジーノ岡山スポーツクラブ代表取締役 木下 正明

茨城県ひたちなか市長 本間 源基

三重県鈴鹿市長 末松 則子

◎「アート・イベントがもたらす地域社会への効果と課題」中央大学教授 工藤 裕子

第3回目の瀬戸内国際芸術祭が開催される。このアート・イベントには100万人近い鑑賞者が訪れ、地域の活性につながっている。アート・イベントは、展示会や催事である事にとどまらず、少子高齢化、人口減少過疎化の問題を抱える地方にとって、活性化とまちづくりの推進にもつながる。

◎都市間競争時代に求められる「稼ぐ都市づくり」 木下 斉

従来の国からの財源支援をもらう都市経営ではなく、稼ぐ自治体への転向が重要である。他都市にはできない「稼ぐ仕組み」を都市に創り出す事が重要である。公共施設整備にしても、歳入を増やす公共設備整備を行い地域の活性化につなげるべきである。人口縮小社会においても、地域の負担を軽減し地方の特色を生かし、競争力を生み出し自立した、稼ぐまちづくりが求められる。

◎後発組の挑戦 —子供たちに夢を！—

(株)ファジーノ岡山を設立し10年目で、「子どもたちの夢と憧れ」「家庭と地域と学校とが協働する」「岡山の誇りとなる」を理念に掲げ今年「J1」へ向け挑戦している。「スポーツでもっと幸せな国へ」という理念で、ファジーノ岡山を通じて地域の人々が幸せになり、地域の活性化につなげるべく挑戦を続けている。

◎職住近接のまちづくりと交流の促進による地域お活きの創出 本間源基

茨城県ひたちなか市は平成6年に勝田市と那珂湊市が合併し誕生した。核家族化や地位地域コミュニティの低下、人口減少、高齢化の進むなかまちの活力を維持し続けることが課題となっている。民間活力の導入により中心市街地への人の流れとにぎわいを創出し地域の活性化につなげ、まちの活力の創出につなげている。

◎「みんなんで創り育み成長しみんなに愛され選ばれるまち」を目指して 末松則子

平成 16 年「モータースポーツ都市宣言」を行いモータースポーツを核としたまちづくりを進めている。また子育て世代が安心して交流できるため、子育て支援センターを中心に組み合わせた、市内 40 の小中学校すべてを、コミュニティスクールに指定し、小規模特認校への校区外からの入校を進め、複式学級の解消を図る。新名神高速道路の I C が設置されることにより、新たな産業の創造による雇用の拡大を図りまちの活力を創造し、みんなに愛され、住んでみたい、住み続けたい、訪れて見たい選ばれるまちの実現に向け取り組んでいる。

行政視察

「バイオマスで活力創出」真庭市 真庭バイオマス集積所、真庭バイオマス発電設備視察



バイオマスツアー真庭

真庭市は 2005 年に岡山県北部の 9 町村が合併し誕生した、市域の 8 割を森林が占める、豊かな森林を背景に成長してきた材木の町である。製材の残材や端材を利用し木材資源の効果的な再利用を図ったのが、昨年稼働を始めた「真庭バイオマス発電所」である。さらにバイオマスによる地域づくり、「バイオマスツアー真庭」という観光戦略による、地域の活性化と情報の発信を図り木材での地方創生をはかっている。まさに、里山資本主義の実践地である。



真庭バイオマス集積所→

所感

人口減少や少子高齢化が進展する中で、将来にわたり「活力のあるまち」を維持していくために何が課題となっているか。また、その課題解決には何が必要かなど、先進自治体の市長の具体的な取り組みの報告は大変参考になった。本市においては、人口減少社会を克服し、住民中心で、地域の特色を生かしたまちづくりを、将来に向けてどのような施策に繋げるべきか参考にしたい。また、シティープロモーションや観光戦略による賑わいの創出に向けた取り組みを生かしながら、市民が愛着やほこりをもって住み続けたいと実感でき、市外からは住んでみたい、訪れてみたいと感じる加古川市の実現のために今後も取り組んでいきたいと思う。これらの事を認識できたことは、これからの活動にとって有意義な研修であった。

以上

第78回全国都市問題会議が岡山市で開催されました。全体のテーマは「人が集いめぐるまちづくり～国内外にひらかれた年の活力創出戦略」です。1日目は、基調講演をドイツ文学者でエッセイストの池内紀（おさむ）氏、主報告として開催地の岡山市長の大森雅夫氏、一般報告は、法政大学デザイン工学部教授の陣内秀信氏、奈良県橿原市長の森下豊氏、竹馬大学大学院システム情報工学研究科教授でサイバニクス研究センター長の山海嘉之氏、2日目は、パネルディスカッションと行政視察を行いました。大変内容の濃い会議でした。

1日目の基調講演のテーマは「まちの見方、見つけ方」、池内氏は姫路市生まれです。永くドイツに在住された経験の中で感じたことを話されました。日本とドイツは双子のように似ている部分がありますが、「倫理観が違う」と言われました。顕著な例として、1963~66年の「アウシュビッツ裁判」を紹介、戦勝国が裁いた「東京裁判」とは違い、自らが裁いた裁判で17人を有罪にしました。アウシュビッツはナチスがひた隠しにし、当時のドイツ国民は知りませんでした。戦後の調査によって明らかになり、過去との対決をしたのがこの裁判です。ドイツ人としての義務として「過去を忘れない」と、何より「倫理」を大切にす国で、福島原発事故後のメルケル首相の判断はそれによるものであり、ドイツでは直ちに全ての原発を停止、点検させました。そして、専門家による技術検討委員会と倫理委員会の2つを設置、技術検討委員会では基準より厳しくして再開を可能としましたが、倫理委員会で再開は許されないとし、その判断に従ったことを紹介しました。日本は倫理という背景がないと言われました。

現在は日本全国を回り、それぞれの街の風景や暮らしを知ることが楽しいということでしたが、「まちの見つけ方」はドイツの暮らしで学んだと、ドイツの街並みを紹介されました。ドイツは、まち全体が記憶装置のごとく、大切な記憶を消すまいと、古くなって改修しても外は元通りに復元します。他のヨーロッパでも同様に街並みは統一されており、まちを守ることがまちの利益になるという考えです。それが住む人々の共同の意思であり、「義務と権利」は倫理があって成り立つのです。日本人は義務に対して鈍感であり、自分の利益でなく全体の利益ということを考え、我慢するところも必要だと話されました。

続いて、岡山市長から、「人口減少社会における都市の活力創出」と題して、岡山の魅力や、まちづくりを語られました。岡山市の自慢はヘルスケア産業、医療機関は政令市20市中3位、福祉部門は1位でヘルスツーリズム拠点化事業に取り組んでいくとのこと。

また、自転車先進都市をめざし、自転車道を整備する他、レンタル自転車「ももちゃり」を進めています。1回100円で貸し出し、自転車は332台、市内35カ所にポートを設置、通勤に使う方もあり、1日1台あたり3回以上借りられているそうです。会場への行き帰りに何度も「ももちゃり」を使っている人を見かけました。観光客だけでなく、市民の足としても定着している様子がわかりました。加古川市でも青年会議所が社会実験でレンタル自転

車に取り組み、当時の都市計画担当者とも「自転車のまちづくり」を進めるための会議を持たれたようですが、具体的には進んでいないように思います。今後の方向性について確認していきたいと思います。

法政大学デザイン工学部教授の陣内秀信氏からは「人を惹きつける都市空間とその文化力」で、既存の年を再評価したイタリアのボローニャを紹介、くらしの場として歴史都市を保存再生し、人々に取り戻しました。また、ヴェネツィアの水上都市、迷宮都市なども紹介し、水辺空間を活かした街づくりの提案や、日本でもスローライフシティ構想に取り組んでいる美濃市、古い町並みを活かした金沢市、川越市などが注目を浴びていることも紹介されました。加古川市では、シティプロモーションの取り組みが始まったばかりです。加古川市の宝を活かすため、産官学の連携をさらに深め、何を発信していくのかを定めていかなければなりません。

奈良県橿原市長は、「交流とにぎわいのまちづくり」で橿原市が日本のはじまりの地であることを誇りをもってダイジェスト映像を使って話されました。その中で、超小型モビリティ（2人乗り電気自動車）「MICHIMO」を貸し出し、歴史的な遺跡や建造物、自然豊かな風景を楽しめる取り組みは興味深かったです。最寄り駅の大和八木駅周辺のまちづくりとして、駅前の市有地に市民生活に直結する総合窓口機能を有した分庁舎と、140室程度の客室を含む観光施設からなる複合施設の建設に着手しています。加古川駅周辺には、加古川市の看板となり得るものが少ないと思います。駅周辺の整備に今後どのように取り組んでいくのかを注視していきます。

どの講演も素晴らしかったのですが、何より驚いたのが、最後の筑波大学大学院の教授でサイバニクス研究センター長で、CYBERDYNE 株式会社社長の山海嘉之氏です。大学院での研究とその成果を実現するために会社を興されたのです。「重介護”ゼロ”社会」への挑戦、その技術革新は驚きそのものでした。「ロボットスーツ HAL」のことをこの講演会で初めて知りました。身体を動かすには、脳からの信号（指示）が神経を辿って筋肉に到達させますが、病気などで筋肉が動かない人に、このスーツを付けることで動かせるようになるのです。脳で考えた通りに足が動くという夢のようなスーツで、生後11か月でポリオに感染し、50年間動かせなかった脚が動かせるようになった患者さんの映像を紹介されました。安倍首相の1月の施政方針演説でもこの「ロボットスーツ HAL」について触れていることや、今後は再生医療、iPS細胞の山中教授との連携で世界初の革新的「機能再生治療」の実現に向けてタッグを組まれました。また、HALスイッチを活用して意思伝達装置を使用して書かれた、ALSの患者さんの映像とメッセージは、胸を打つものでした。それは、「このハルスイッチが私たちにどれほどの期待と希望になるか伝えたい。全身不随で、食べることも呼吸さえ自分でできないけれど、もしも一つだけ、機能が取り戻せるなら迷うことなくしゃべることを選ぶ。コミュニケーションは、全身が動くことと匹敵する。このスイッチは動かない体が自由に動くほどの感動である」というものです。夢のスーツ、この先進的な技術に脱帽しました。

2日目のパネルディスカッション、コーディネーターは東京大学大学院工学系研究科教授の西村幸夫氏です。パネリストは三重県鈴鹿市長の末松則子氏、茨城県ひたちなか市長本間源基氏、中央大学法学部教授工藤裕子氏、ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役木村正明氏、エリア・イノベーション・アライアンス代表理事の木下斉氏でした。1日目より一段と内容が深く、面白いものでした。

トップバッターの末松氏は2003年に鈴鹿市初の女性県会議員となり、2期務めた後2011年に東海地方初の女性市長に就任、母親としての視点を生かした子育て教育施策を推進されています。また鈴鹿と言えばF-1、全国唯一の「モータースポーツ都市宣言のまち」として市民レベルでのモータースポーツ振興に取り組まれています。また、昨日の山海教授が進めるロボットスーツHALの研究開発拠点として、鈴鹿ロボケアセンターを開設されていました。

続いてひたちなか市の本間氏は、廃線の危機にあった3セクのローカル鉄道「ひたちなか海浜鉄道」では、社長を公募したことや、存続を求めた市民応援団により利用が伸び、今は延長まで検討するほどになりました。また、三世代同居・近居支援などを推進したり、タコの加工が日本一であることから、タコに関連する自治体8市が集い「タコりんピック」を明石市で開催され、攻めのまちづくりを展開しています。

中央大学の工藤氏は「アートイベントがもたらす地域への効果と課題」というテーマで講演、おりしも開催中の「瀬戸内国際芸術祭」での「小エビ隊」を紹介し、地域活動として、住民が生きがいを見つけて参加していることが成功の秘訣であることを伝えました。いくら素晴らしくても、通過するだけで滞在できないものや、一過性のイベントではなく、市民の自主的な活動を支援することや、定期的なものにしていくことが大切であるといった内容でした。

木村氏は岡山のサッカーチーム「ファジアーノ岡山」を地域に密着させた活動を広げました。町内会や会社、商店などに出向いて活動を伝え、応援団を増やす様々な取り組みを展開、2年半でJリーグ入りを果たし、年間平均入場者数1万人を目標に掲げています。木村氏の熱意が企業や市民を動かし、選手たちの原動力となったことは間違いないと思います。近々セレッソ大阪との試合を控え、応援グッズや応援幕などが街中にあることに気付きました。「こどもたちに夢を！」を掲げ、市民全体を巻き込んでいく、その気にさせる仕掛けに学ぶところは多くありました。

木下氏は、補助金に依存しない地域再生事業の立ち上げを行っています。公共資産を活用して稼いで公共サービスを支える「稼ぐインフラ」を作ろう！と呼びかけました。「指定管理はレベルが低い」「民間賃貸で公共サービスの財源を作る」という考えであり、その中で劣悪な民間とは、補助金を頼ったり、行政に何かをしてもらおうとする会社であり、大切なのは、行政から如何に独立するか、市民との協働であるといわれました。さらに、「シンクしないシンクタンクはいらない」とされ、今後は、自治体間の連携が重要で、先進地のノウハウを得るには、その自治体の職員に委託料を払って来てもらう方が有効であると言われ

ました。まちづくりに必要な学びを多く頂きました。

午後からは行政視察、真庭市のバイオマス発電所などを見学させて頂きました。真庭市の約8割が森林、地域にある資源を活かす「里山資本主義」は先駆的で、バイオマス資源の地域内循環、地域内流通などを通して地域を活性化させると共に、循環型社会のモデルタウンとして注目を集めています。発電ノウハウを持つ企業と、市や真庭木材事業協同組合などが出資して昨年稼働を始めたバイオマス発電所は稼働率 98.5%です。燃料の安定供給がネックであり、それを木材事業協同組合から買取る仕組みです。発電所は 22 億円の売り上げ、組合から買い取る材料費は 13 億円です。見学したのは、発電所と組合の木材集積場ですが、他にも、バイオマス燃料を利用した温水プールや温浴施設、公共施設など生ごみから資源を製造したり、住民参加の薪プロジェクトなど、市全体で自然エネルギーを活用したまちづくりを進められていました。

2 日間の都市問題会議は内容が濃く充実していました。



第 78 回全国都市問題会議 会 議 案 内

期 日：平成 28 年 10 月 6 日（木）・7 日（金）

会 場：岡 山 市 岡 山 国 際 ホ テ ル

（ 主 催 ）

全 国 市 長 会

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所

公益財団法人 日 本 都 市 セ ン タ ー

岡 山 市

（ 協 賛 ）

公益財団法人 全 国 市 長 会 館

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			5
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	費 金	額	円
	資料購入		8,100
内 容	日本教育新聞購読料		
支 払 先	(株)日本教育新聞社	支払年月日	平成28年10月6日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く） 裏面に貼付			

自動口座振替のお知らせ

加古川市議会 志政加古川

松本 裕之 様

(コート: [REDACTED])

株式会社 日本教育新聞社

読者管理部

東京都港区虎ノ門1-2-8

TEL:03-5510-7777

FAX:03-5510-7822

謹啓 平素より『日本教育新聞』のご愛読を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびは、購読料お支払いに自動口座振替のお申し込みをいただきありがとうございました。

初回の引き落としの 2016年10月 より毎月 6 日（休日の場合、翌営業日）に下記の金額について振替させていただきますので、ご了承のうえ残高のご確認をお願い申し上げます。

今後とも末永いご愛読をお願い申し上げます。

謹白

数 量: 3ヶ月

合計振替金額: ¥ 8,100 ^{10/6} 引落

振替対象期間: 2016年08月 ～ 2016年10月

※ 次回引き落とし日より、通常通り1ヶ月分ずつの振替をさせていただきます。

※ 既にお送りしております請求分のお支払いが本状と入れ違いでお済みの場合は、お支払済みの月の翌月からの引き落としとなりますので、宜しくお願い致します。

回収代行: SMBCファイナンスサービス

普通預金 (兼お借入明細)

年月日(和暦) 記号 お引出し金額(円) お預入れ金額(円) 残 高(円)

1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19	28-10--6 振替		*8,100	SMBC(二軒)特ワイクランブシ	
20					
21					
22					
23					
24					

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			6
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	費 金 額	円	
	広報	31,352	
内 容	市政報告会 案内配布 (新聞折込代)		
支 払 先	(株)神戸新聞総合折込	支払年月日	平成28年 10月 14日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること (書類が多い場合は裏面に続く)

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面のご案内もあわせてご覧ください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ￥31,136
振込手数料 ￥216

お受取人は
銀行
支店

カ) コウヘンソフソソウコウオリコミ 様

お振込人は
クセイカコカワ、カイケイ ニツムラ マサフミ
様

お取扱日28.10.14 電信振込

取扱店	機番	年 月 日	時 刻
4317A	28.10.14	13:30	
4734			

銀行番号 店番号 口座番号等

税 務 署 承 認 済
付 託 税 申 告 納
印 紙 税 申 告 納

三井住友銀行

御請求書

平成28年10月13日

志政 加古川 様

株式会社 神戸新聞総合折込

本社 〒651-2241 神戸市西区室谷1丁目2番6号

神戸営業所 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7

TEL (078)382-1000

毎度、有難うございます。下記の通り御請求申し上げます。
なお、当請求書と入れ違いにご入金済みの場合はご了承下さい。

合計金額 ￥31,136

折込日	広告名	サイズ	単価	枚数	金額
平成28年	新聞折込広告料				
10 19	志政 加古川	B4	3.00 0.10	9,300	27,900 930
				小計	28,830
				消費税8%	2,306
				合計	31,136

* 取引銀行： 銀行 支店

10/14 振込

加古川市議会

志政加古川

Shisei Kakogawa
since 2014

第9回

定例議会報告会

話しませんか、加古川の明日を

10月30日(日)

場所

加古川市両荘公民館

兵庫県加古川市平瀬町山角718-1
(079-428-3133)

時間

15:00 ~ 16:30

(14:30 ~ 受付)

お問い合わせ

加古川市議会 志政加古川控え室 079-427-9394

*控え室に在室していない場合もありますのでご了承ください。

～プログラム～

- ◆開会挨拶
- ◆平成28年9月定例会報告
- ・代表質問・一般質問について
- ・公開事業評価について
- ・行政視察報告
- その他
- ◆意見交換
- ◆お知らせ～閉会



織田正樹

建部正太

玉川英樹

松本裕一

木谷万里

松本裕之

西村雅文

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			7
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	広 報 費	金 額	円 398,952
内 容	会派新聞デザイン・作成 (市政報告印刷代)		
支 払 先	デザインビッツ 辻川和男	支払年月日	平成28年 10月 24日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること (書類が多い場合は裏面に続く)

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面のご案内もあわせてごらんください。



☆☆お振込☆☆

お振込金額 ￥398,520
振込手数料 ￥432
398,952

お受取人は



ツツカワ カズオ 様

お振込人は

ツセイカコカワ, カイケイ ニツムラ マサフミ 様

お取扱日28.10.24 電信振込

取扱店	通番	年 月 日	時 刻
431	78	28.10.24	10:49
			0585

銀行番号	店番号	口座番号等
		

三井住友銀行

税 務 署 認 済
付 紙 税 申 告 納
に つ き 趣 向

合計	369,000
消費税(8%)	29,520
税込み金額	398,520

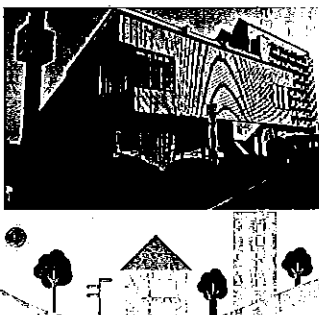
平成二十七年年度決算及び事業評価

●平成二十七年年度決算概要

平成27年度の日本経済は、大胆な金融政策のほか、各種政策の効果があり、雇用・所得・環境の改善傾向が続く、緩やかに回復していくことが期待されます。

本市においては、地方創生への取組みとして、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、積極的に取り組んでいます。特に、保育所整備事業においては、待機児童数を大幅に減少させ、子育てと仕事の両立支援を行いました。また、ごみ減量啓発事業においては、まだまだ市民の認識は低く、さらに徹底した施策が必要だと考えます。

※実質収支 +5億4,406万円



会議では会計年度終了後に、おいて、決算認定のための審査を行っています。この審査の一環として、議会独自の予算規模に、着目して事務事業評価を行い、来年度の予算編成について市長に対し提言を行う

歳入(入ってきたお金)	
788億4,024万円	
市税	388億4,882万円
地方譲与税	6億9,323万円
地方交付税	49億2,201万円
分担金及び負担金	11億7,088万円
使用料及び手数料	12億482万円
国庫支出金	115億5,379万円
県支出金	55億1,690万円
諸収入	40億712万円
市債	44億660万円
その他	65億1,607万円

歳出(使ったお金)	
781億2,859万円	
議会費	5億8,277万円
総務費	119億5,304万円
民生費	296億4,657万円
衛生費	70億1,941万円
労働費	10億9,298万円
農林水産費	8億6,282万円
商工費	15億4,617万円
土木費	79億7,523万円
消防費	30億5,536万円
教育費	55億1,432万円
災害復旧費	5,182万円
公債費	88億2,805万円

使い道・平成27年度の主な取り組み	
会議録作成委託料の拡充など	会議録作成委託料の拡充など
地域見守り防犯カメラの設置補助金・公共施設維持補修事業など	地域見守り防犯カメラの設置補助金・公共施設維持補修事業など
生活保護児童養育・特養児童の解消のための保育施設整備など	生活保護児童養育・特養児童の解消のための保育施設整備など
ウェルネスパーク ESCO 事業委託料、ゴミ・し尿処理や予防接種など	ウェルネスパーク ESCO 事業委託料、ゴミ・し尿処理や予防接種など
労働者住宅改修補助事業など	労働者住宅改修補助事業など
未利用農地活性化事業、農林水産業振興事業など	未利用農地活性化事業、農林水産業振興事業など
プレミアム付商品券発行支援事業補助金など	プレミアム付商品券発行支援事業補助金など
中心市街地整備事業、道路や公園・河川の整備など	中心市街地整備事業、道路や公園・河川の整備など
消防施設整備事業、消火・救急活動など	消防施設整備事業、消火・救急活動など
学校給食事業、小・中学校や幼稚園の整備など	学校給食事業、小・中学校や幼稚園の整備など
台風災害による復旧費用・危険箇所調査費など	台風災害による復旧費用・危険箇所調査費など
市債などの借入金の返済など	市債などの借入金の返済など

●議会による事業評価

議会では会計年度終了後に、おいて、決算認定のための審査を行っています。この審査の一環として、議会独自の予算規模に、着目して事務事業評価を行い、来年度の予算編成について市長に対し提言を行う

☆「棋士のまちPR事業」
ウエルネス推進課
プロ棋士を5名も輩出して
いる加古川市は「棋士のま
ち」を広く全国に発信するこ
とにより、知名度を上げ、販
売の創出と活性化に繋げ
るため予算を拡充すべきで
あるとしました。

☆「棋士のまちPR事業」
ウエルネス推進課
プロ棋士を5名も輩出して
いる加古川市は「棋士のま
ち」を広く全国に発信するこ
とにより、知名度を上げ、販
売の創出と活性化に繋げ
るため予算を拡充すべきで
あるとしました。

☆「棋士のまちPR事業」
ウエルネス推進課
プロ棋士を5名も輩出して
いる加古川市は「棋士のま
ち」を広く全国に発信するこ
とにより、知名度を上げ、販
売の創出と活性化に繋げ
るため予算を拡充すべきで
あるとしました。

評価項目	内容
1. 棋士のまちPR事業	プロ棋士を5名も輩出して いる加古川市は「棋士のま ち」を広く全国に発信するこ とにより、知名度を上げ、販 売の創出と活性化に繋げ るため予算を拡充すべきで あるとしました。
2. 棋士のまちPR事業	プロ棋士を5名も輩出して いる加古川市は「棋士のま ち」を広く全国に発信するこ とにより、知名度を上げ、販 売の創出と活性化に繋げ るため予算を拡充すべきで あるとしました。
3. 棋士のまちPR事業	プロ棋士を5名も輩出して いる加古川市は「棋士のま ち」を広く全国に発信するこ とにより、知名度を上げ、販 売の創出と活性化に繋げ るため予算を拡充すべきで あるとしました。
4. 棋士のまちPR事業	プロ棋士を5名も輩出して いる加古川市は「棋士のま ち」を広く全国に発信するこ とにより、知名度を上げ、販 売の創出と活性化に繋げ るため予算を拡充すべきで あるとしました。



●市民による事業評価

平成28年度公開事業評価は、10月1日(土)・2日(日)に行われました。放談して紹介しました。公開事業評価の主な意見と、会派の考え方をです。

核兵器廃絶宣言事業
戦没者遺族支援事業

この2事業は別々に評価されたもので、目的は「核兵器廃絶」や「追悼」だけでなく、どちらも恒久平和を祈念することであることから、対象を全ての市民とすることや、一つの事業の中で考えてはどうか、という意見がありました。また、「核兵器廃絶」は全国に先駆けて宣言、戦没者の追悼式は市として申意を表すという伝統があります。どちらも、会派としては大切に守りたい、という思いがあり、今後は、遺族会の方のご意見を聞き、より良い形で継続できるように提言します。

未利用農地等活性化対策事業
国の政策によりコメ作の生産調整が行われ、遊休農地や耕作放棄地が増加した背景があり、市内の未利用農地を活用し、農地の保全や農業後継者の育成などの課題解決を図っています。成果はあり、税の投入は公益であるという意見もありましたが、本年は新規就農者の育成を担う若農塾への参加希望者も今のところありません。会派としては、事業委託先であるふーみんサポート東播磨は、加古川市と、JAAの共同出資の会社ですが、運営を民間事業者任せ、委託ではなく補助事業としても良いのではないかと考えています。

ごみ減量化啓発事業
これまでの啓発によって一定の減量効果はあったものの、一人当たりの排出量の抑制目標の周知や資源化率が他市と比べて遅れているのではないかと意見がありました。これまでに、私たちの会派は有料化を前提としない減量を強く求めてきました。今後も20%減量を達成するために、市民、事業者へのさらなる啓発、生ゴミ処理機購入への継続的な補助などを提言するとともに、市民サービスの低下に繋がらないよう、市の様々な工夫を求めていると思います。

子育て支援予防接補助成事業
子育て世帯に対し、「おたふくかぜ」と「インフルエンザ」の予防接種を助成する事業ですが、接種した全体数を把握できなかった点や、「おたふくかぜ」の予防接種を推奨するならそれに特化した助成額を増やした方がよいのでは、等の指摘がありました。会派としては、子育て支援策の一つとして種類や回数、拡充を求めました。また、幼児期だけでなく、受験や卒業式を控える中学3年生に対し、インフルエンザの予防接種助成を要望していきます。

その他
B'n'baN ラジオ事業・女性消防団活動事業・読書啓発事業を公開事業評価を行いました。

表題

安全・安心のまちづくりについて

「安全・安心のまちづくり」について
28年4月、通学路に防犯カメラを設置する考えを示し、市長が「オープンミーティング」で説明、市民の理解を得てくれました。当初の画像管理の考えは、コスト面から通信ネットワーク方式などによる一元管理の考えはありませんでした。小学校区に各50台の1400台で、1台20万円としても約3億円、更新や点検費用は別途必要です。当初の考え方は3億円の無駄になるおそれがあると考え、質問を準備しました。
見守りカメラの第一の目的は「犯罪抑止」で、犯罪抑止は、検挙率を上げること、画像を迅速に再生しなければなりません。先進地の状況から画像が頻りに提供されることや、カメラが問題なく動いているかの確認は、当初の方法では点検や修理を1台ずつ行うことになり、かえって手間と費用がかかりました。そういった観点からネットワーク方式を求めた質問でしたが、市長はその後、検討で、一元管理を検討していると答弁があり、拍子抜けしたと同時に、安堵しました。

もう一つは、「障害のある人もない人も共に安心して暮らせるまち」で、養護学校に通う児童を必要とする児童、生徒はスクールバスに乗車せず、保護者が自家用車で通学しています。他市では市の判断でタクシーに看護師を乗車させるなどの支援策を講じており、差別解消法をきっかけに早急に改善して欲しいと提言しました。



児童クラブ運営とスタッフ及び施設環境について

一般質問

松本裕之議員

児童クラブは、H32年度末に向け、子育て支援事業計画に基づき整備が進められております。その中で、総合的な運営やスタッフ待遇及び施設設備に課題が発生しています。運営方式に関しては、近隣の、高砂、稲美、播磨、明石で実施されている民間移管に関して、加古川市の考え方を確認、H33年度以降、前向きに検討するとのこと。補助員さんの雇用形態は、来年度より1年雇用体制に改善を図りたいと各弁されました。また、スタッフ間のミーティングに関しては、必要に応じて時間を設けて情報共有を図ることが可能であるとされました。

美、播磨、明石で実施されている民間移管に関して、加古川市の考え方を確認、H33年度以降、前向きに検討するとのこと。補助員さんの雇用形態は、来年度より1年雇用体制に改善を図りたいと各弁されました。また、スタッフ間のミーティングに関しては、必要に応じて時間を設けて情報共有を図ることが可能であるとされました。

市議会に於ける公正取引

西村雅文議員

「教科書採択問題」における公正取引
委員会の調査結果について
「教科書採択問題」について、公正取引委員会が調査し、教科書出版会社9社に対して「警告処分」を行い、加古川市においては、5名が謝礼を受け取り、「謝礼処分」になり、長きに亘って常態化し、慣習化に行われていたことも明らかになっています。

加古川市では、公取委の発表後、教育委員会においても一切議論されていませんし、不当な営業を行っていた出版会社が発行の教科書を小学校では今後3年、中学校では今後4年に渡って、使い続けなければならない。それらを手にするたびに、何だか子供達の手が汚れるような気がしてなりません。

「オープン」という言葉が大切にされ、教科書採択に対する市民との信頼関係が築かれます様に祈ります。

Q: 次回の採択時には今回の事件が「風化」していることも考えられるが、今回の「事件」および「警告処分」を受けた出版会社を、改めて情報提供をする考えはあるか?

A: これまでも適切に採択を行ってきた。次回の採択時には今回の「事件」そのものについては、次回の採択関係者に情報提供をするが、警告を受けた9社については、文科省および県教育委員会と検討して行きたい。

会派視察報告(6月28日・30日・7月6日)

市議会に於ける公正取引

土曜日や放課後などに教室などを利用して、学習やスポーツ、文化活動など、子どもたちと地域の方が交流する活動です。市内160の小学校で開催。特に学習サポートで基礎学力の向上を促進していることは素晴らしい取り組みです。加古川市にも放課後こども教室はあります。学習サポートは実施されているので、拡充を求めています。

合わせた教育を進めています。現代の5、6年生は中学生的な扱いが必要であると言われました。学力では、統合前の中学校は市内ワースト5だったのが、わずか3年でトップ5に入っている成果を上げました。市内73校中これは、学習に向かう姿勢を低学年から定着させたことや、京都市小中一貫学習支援プログラムの徹底が功を奏しています。本市のユニークなところは、連続性のある教育を推進しています。京都市小中一貫教育ではありますが、小中一貫教育でなく、一貫した学び、育ちを支える教育について考える機会になりました。

市議会に於ける公正取引

安心で安全なまちづくり基本条例

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

条例への会派表明 「加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例」を定めること

加古川市では、2市2町による広域ごみ処理施設が平成34年から稼働するにあたり、可燃ごみ20%減量が必須となっています。本条例改正は、その対応の一つとして、粗大ごみ個別有料収集の実施についてであります。受益者負担の公平性を図ることにより、ごみの減量への意欲が芽生え、ごみ出しの利便性が高まること、他市の先進事例からもその効果は十分見込まれることは理解できます。課題として、実施に関して条例改正から1年間の周知期間において、広報誌等はもちろん、掲示板やあらゆる媒体を利用すること、連合会単位だけでなく、単位町内会での説明会を年内に1回、かつ明確に進めて頂くよう要望いたしました。

また、申請受付は、コールセンター体制だけでなく、経費削減にもなるインターネットやFAXでの受付等もCIT社会への対応も前向きに検討をお願いします。

不法投棄に関しては、現在でも地域によってはステーションへの不法投棄が多発しているところもあります。問題が発生する前に、罰則等を含めた不法投棄防止に関する条例制定などの対応策を進めて頂くよう要望し、本条例改正に賛成いたしました。

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市民病院情報

加古川中央市民病院が7月1日より開院しました。1多量の混雑はあるものの、駅からのシャトルバスの運行もあり 24時間 365日眠らない地域医療の基幹病院として稼働しています。加古川中央市民病院の特徴 600床、30診療科を有する急性期総合病院で、地域完結型医療と地域包括ケアシステムの構築を目指しています。旧病院跡地活用について 東市民について 東消防署・東加古川公民館の新築移転 前面道路の改良、拡幅を含め交通量調査中 西市民について 旧館は耐震性が確保されていない為解体、中央診療棟と別館は医療・福祉機能に活用、休日夜間急病センターの移築などを検討

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

市議会に於ける公正取引

志政加古川 会派議員の紹介

- 幹事 木谷 万里 福祉環境常任委員 議会運営副委員長
- 副幹事 松本 裕一 副議長 総務教育常任委員
- 副幹事 玉川 英樹 建設経済常任委員長 議会運営委員
- 副幹事 西村 雅文 総務教育常任委員 加古川市都市計画審議会委員 議会運営委員
- 建設部 正人 建設経済常任委員 東播磨農業共済事務組合議員
- 松本 裕之 福祉環境常任委員 加古川市都市計画審議会委員
- 織田 正樹 総務教育常任副委員長



加古川中央市民病院

第9回 定例議会報告会のご案内

日時 平成 28年10月30日(日) 場所 両荘公民館

15:00~16:30

①平成28年第4回定例会報告 ②代表質問・一般質問について ③事業評価について

④視察報告 ⑤意見交換

是非、皆様のお越しをお待ちしております。

ご意見等はファックスにてお受けいたします。 079-427-9394

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			8
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	費 金 額	円	
	資料購入	5,724	
内 容	放送料 (9月分) BAN-net 15Mコース利用料 9月分		
支 払 先	BAN-BAN ネットワークス(株)	支払年月日	平成28年10月27日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

裏面に貼付

[illegible]

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			9
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	備品・消耗品費 資材費	金 額	円 16,200
内 容	コピーリース代(9月分)		
支 払 先	神鋼リース(株)	支払年月日	平成28年 10月27日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く） 裏面に貼付			

領 収 書



No. 00004675

2016 年 10 月 27 日

志政加古川 玉川 英樹

様

下記金額正に領収致しました。

取引種類	契約番号	領収回数	支払回数	リース料等	消費税額等	区分	備 考
リース		23	36	15,000	1,200	A3	DocuCentre-V C2275PFS-PC 1 リース料
計				15,000	1,200		領 収 金 額 合 計 ￥16,200.-

(ご説明) 1.消費税額等は、消費税と地方消費税の額の合計額です。
2.区分 A2:課税(5%) A3:課税(8%) A4:課税(10%) B:非課税 D:対象外 E:輸出免税

〒675-0131

兵庫県加古川市別府町新野辺畑下
1525-218

神鋼工業株式会社



加古川営業所長

照会先電話番号 079-437-9536

A74-08

収入印紙

(二)

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			10
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	費 金 額	円	
	広 報	7,538	
内 容	会派市政報告会 参加者用お茶代' 120本		
支 払 先	(株)マルアイ ハ幡店	支払年月日	平成28年10月29日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

2016年10月29日（土）

加古川市議会 志政加古川 様 領 収 証

¥ 7, 538 -

上記正に領収しました。（消費税等 558円を含みます）

株式会社マルアイ ハ幡店 報告会 お茶×120本
TEL 079-438-8970 加古川市八幡町上西条1089番地

※保管上のお願
財布等で保管戴く場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

担当者

0004-0882-9371

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			11
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	資料作成	費 金 額	19,653 円
内 容	コピー代 4,238枚(9月分)		
支 払 先	富士ゼロックス兵庫(株)	支払年月日	平成28年10月31日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること(書類が多い場合は裏面に続く)			

領 収 証

FX16-1030349

志政加古川 様

金額

¥19,653 ※

収
入
印
紙

但し 請求書通り

平成 28 年 10 月 31 日

上記の金額正に領収いたしました。

現金・小切手	¥	※
振 込	¥	※
手形・相殺	¥	※
計	¥	19,653 ※

神戸市中央区浜辺通2丁目
富士ゼロックス兵庫株式会社



扱 者 印



(本証に社印および扱者印の無いもの、並びに金額の訂正したものは無効です。)

志政加古川

様

請求書

発行日：2016年10月04日
請求書番号：761003-0067389

富士ゼロックス兵庫



今回ご請求額 19,653円

毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。
ご請求内容のお問合わせ、ご請求の住所、部課名、届け日の変更の際は、下記にご連絡をお願いいたします。

お問合せ番号： 電話：0120-069-840

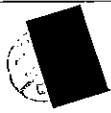
お支払約束手日	2016年10月31日
お支払方法	口座振替
金融機関名	
本・支店名	
預金種目/口座番号	*****
指定口座名	上記、お支払約束手日に口座より引落しさせていただきます。

料 金 項 目 / 品 名	期 間 / 送 品 N O	枚数/数量	単 価	小 計 (円)	合 計 (円)
1 トータルサービス料金	2016/09/01-2016/09/30				18198
2 黒モード	1カウント以上	3428	1.80	6170	
3 クリエイション	1カウント以上	638	14.00	8932	
4 フルカラー	1カウント以上	172	18.00	3096	
5 ご使用合計		4238			
6					
7 税金/料金合計					18198
8 消費税および地方消費税					1455
9 今回ご請求額					19653
10					
11 ※ご利用機種/機械番号:DocuCentre-V C2275 PFS-PC 602511					
12 { 今回 } { 前回 } { テスト } { ミス } 2016/09/01-2016/09/30					
13 1 { 52757 } { 49294 } { 0 } { 35 }					
14 2 { 14855 } { 14210 } { 0 } { 7 }					
15 3 { 4887 } { 4713 } { 0 } { 2 }					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					

16500 00908 3304640502 30 1007 0C9
A-060466 0000 3304640502 510 1NK 0000 11040040

3 1 備考：

NIF003

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			12
会 派 名	志政加古川	年 度	平成 2 8 年度
項 目	費 金 額	463,186 円	
内 容	調査研究		
支 払 先	行政視察（八代市・宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校・熊本市）	支払年月日	平成 28 年 11 月 14 日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

No20161116-8627
 領収書
 2016年11月15日 18:51

志政加古川
 様

お支払い方法：現金
 ￥2,856
 (内消費税額： ￥212)

但し、レギュラーガソリン
 上記 正に領収いたしました

(株) エムロード D. D世安SS
 熊本市中央区世安町字1
 2016/11/16 (940403) 096-362-3400

係員:0001

領 収 書

No.

平成 28 年 11 月 25 日

収 入

印 紙

志政 加古川 様

¥ 15,440 -

現金 旅行券 振込

但し

上記の通り領収致しました

1. 金額の訂正、社印、係印無きものは無効と致します
2. 仮領収証及び本領収証共複写にて発行致します
3. 仮領収証は本領収証到着次第、無効と致します



兵庫県知事登録旅行業第3-419号

有限会社 大西洋ツリースト

〒676-0808 兵庫県高砂市神戸1-1-20
TEL:079-431-8881 FAX:079-431-9997

- ☐ ニッケパークタウン店 TEL:079-423-7888
- ☐ アスティアかさい店 TEL:0790-43-3939
- ☐ たつの赤とんぼ広場店 TEL:0791-64-8888
- ☐ イオン加古川店 TEL:079-426-8700
- ☐ 姫路営業所 TEL:079-281-3931
- ☐ 高砂南営業所 TEL:079-442-XXXX

担当者氏名

請 求 書

平成29年1月26日

コースNO

1611B047

志政加古川

様

(有) 大西洋ツーリスト

兵庫県知事登録旅行業第3-419

〒676-0808 高砂市神爪1-20
TEL: 0794-31-8881 FAX: 0794-31-9997
一般旅行業務取扱主任者 太田 洋平
振込先: 信用金庫 支店



下記のとおりご請求申し上げます

税込合計額		¥15,440		
品名	数量	単価	金額	摘要
1 11/15レンタカーWAクラス禁煙	1	15,440	15,440	
2 (熊本駅発着12時間プラン)				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
合計			¥15,440	

本請求書と入れ違いにお振り込み済みの節はご容赦下さい。また銀行振込をご利用いただいた場合は振込銀行の発行した振込受領書をもって領収書とさせていただきます。

出張調査届

平成28年10月3/日

市議会議長様

会派名 志政加古川

代表者 木谷 万里

このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

西村 雅文

調査都市名及び調査内容

11月14日(月) 八代市 「やつしろあったかねっとについて」

11月15日(火) 宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校 「中高一貫教育について」

11月16日(水) 熊本市 「災害情報トリアージについて」

2016NEXTフォーラム「防災研修 災害から学ぶ」

出張期間 平成28年11月14日(月) から平成28年11月16日(水) (3日間)

旅 費 内 訳	日 当 (単価 円 日分)	円	経 路
	宿 泊 料 (単価 16,000円 2日分)	32,000円	別紙 日程表のとおり
	鉄 道 賃 8,290×2+170	16,750円	
	急 行 料 金 6,900×2	13,800円	
	航 空 賃 ()	円	
	車 賃 200+230+150	580円	
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 ()	円	
	そ の 他 (レンタカー使用)	15,440円	
	合 計	78,570円	

※ 届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※ ゼール&レンタカー使用 10,370円×0.8=8,290円、7,670円×0.9=6,900円 (10円未満切捨て)

出張調査届

平成28年10月3/ 日

市 議 会 議 長 様

会派名 志政加古川

代表者 木谷 万里

このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

織田 正樹、松本 裕之、玉川 英樹、木谷 万里、松本 裕一

調査都市名及び調査内容

11月14日（月）八代市 「やつしろあったかねっとについて」
 11月15日（火）宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校 「中高一貫教育について」
 11月16日（水）熊本市 「災害情報トリアージについて」
 2016NEXTフォーラム「防災研修 災害から学ぶ」

出張期間 平成28年11月14日（月）から平成28年11月16日（水）（3日間）

旅 費 内 訳	日 当 (単価 円 日分)	円	経 路
	宿 泊 料 (単価 16,000円 2日分)	32,000円	別紙 日程表のとおり
	鉄 道 賃 8,290×2+170	16,750円	
	急 行 料 金 6,900×2	13,800円	
	航 空 賃 ()	円	
	車 賃 200+230+150	580円	
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 ()	円	
	そ の 他	円	
	合 計	63,130円	

※ 届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※ レール&レンタカー使用 10,370円×0.8=8,290円、7,670円×0.9=6,900円（10円未満切捨て）

※ 63,130円×0.9=56,817円

出張調査届

平成28年10月3/ 日

市議会議長様

会派名 志政加古川

代表者 木谷 万里

このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

建部 正人

調査都市名及び調査内容

11月15日（火）宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校 「中高一貫教育について」

11月16日（水）熊本市 「災害情報トリアージについて」

2016NEXTフォーラム「防災研修 災害から学ぶ」

出張期間 平成28年11月14日（月）から平成28年11月16日（水）（3日間）

旅 費 内 訳	日 当 (単価 円 日分)	円	経 路
	宿 泊 料 (単価 16,000円 2日分)	32,000円	別紙 日程表のとおり
	鉄 道 賃 9,010×2+170	18,190円	
	急行料金 7,670×2	15,340円	
	航 空 賃 ()	円	
	車 賃 200+230+150	580円	
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 ()	円	
	そ の 他	円	
	合 計	66,110円	

※ 届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※ 往復割引適用後の運賃 10,020円×0.9=9,010円（10円未満切捨て）

※ 11/14は前泊

志政加古川視察行程表

11月14日(月)～11月16日(水)

11月14日(月)

加古川駅 8:13⇒(JR)⇒8:25 姫路駅 8:34⇒(さくら 547 号)⇒11:19 熊本駅

11:29⇒(JR)⇒11:56 有佐駅⇒(八代市送迎)⇒八代市鏡支所 (昼食)

13:30～15:00 八代市 行政視察

「やつしろあったかねっとについて」

八代市議会事務局 (TEL: 0965-32-5984)

八代市鏡支所⇒(八代市送迎)⇒有佐駅 15:34 (JR)⇒16:02 熊本駅

熊本市内 泊

11月15日(火)

熊本駅⇒(レンタカー)⇒五ヶ瀬中等教育学校

13:30～15:30 五ヶ瀬中等教育学校行政視察

「中高一貫教育について」

五ヶ瀬中等教育学校 (TEL: 0982-82-1255)

五ヶ瀬中等教育学校⇒(レンタカー)⇒熊本駅

熊本市内 泊

11月16日(水)

熊本駅前 8:24⇒(熊本市電 A 系統・健軍町行)⇒8:39 熊本城・市役所前駅⇒(徒歩約 2 分)⇒熊本市役所

9:00～10:00 熊本市 行政視察

「災害情報トリアージについて」

熊本市議会事務局 (TEL: 096-328-2687)

熊本市役所⇒(徒歩約 2 分)⇒市役所前 10:33 (九州産交バス・楠団地行)⇒

10:46 熊本大学前⇒(徒歩)⇒熊本大学 (昼食)

13:00~17:45 2016 NEXTフォーラム

「防災研修 災害から学ぶ」

熊本大学工学部 百周年記念館

熊本大学前 18:15⇒(九州産交バス・熊本交通センター行)⇒18:36 熊本交通センター
18:43⇒(九州産交バス・小島産交行)⇒18:52 熊本駅前⇒(徒歩)⇒
熊本駅 19:26⇒(さくら572号)⇒22:20 姫路駅 22:36⇒(JR)⇒22:47 加古川駅

出張調査研修報告書

平成29年1月13日

市議会議長様

会派名 志政加古川

出張者氏名

木谷万里

松本裕一

玉川英樹

建部正人

松本裕之

織田正樹

西村雅文

下記のとおり報告します。

日程 平成28年11月14日～平成28年11月16日（3日間）

視察先

八代市・宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校・熊本市

視察（調査）事項

「やっほあ、にかね」とについて」

「中高一貫教育について」

「災害情報トリアージについて」

復命事項（所見及び感想）

別紙報告書参照

出張に伴う経費の精算

前渡金額

460,330 円

精算額

463,186 円

過不足額

2,856 円

※レガシー・カシム代

※報告者が議員の場合は、出張者氏名欄に記入のこと。

市政加古川 行政視察

平成 28 年 11 月 14 日

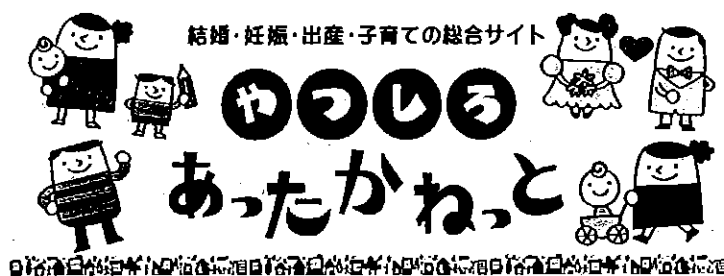
八代市鏡支所

議会事務局 ■■■ 事務局長

こども未来課 ■■■ 課長、■■■ 係長

「やつしろあったかねっと」について

八代市は、熊本市の南約 40 km に位置し、日本三大急流の一つである球磨川の河口の扇状地を中心に、約 680 ㎥の面積に約 13 万人に人口を有する農業と工業の町である。10 月までは震災への対応や庁舎の移転のため視察を受け入れなかったが 11 月より仮庁舎である鏡支所にて受け入れを再開している。



平成 27 年 4 月に、結婚・妊娠・出産・子育ての総合サイト「やつしろあったかねっと」を開設した。

これは、①. 子育て支援に関する情報発信のガイドブックやリーフレットがなかった。

- ②. 市民から子育て支援の情報入手の要望があった。
- ③. 少子高齢化の進行や結婚や子育ての不安がある中、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を図る必要があった。
- ④. ハンドブックなど紙の形態では変更に対応が遅れる。
- ⑤. 市のホームページでは全ての情報が分かりにくい。
- ⑥. 情報の入手ツールとしてスマートフォンが使われている。

以上の課題を解決するため、安心して子供を産み育てる環境づくりや結婚から子育てまでの総合的な情報の発信が必要であったため、国の「地域少子化対策強化事業（地域少子化対策強化交付金）」を活用し、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の為の情報発信として総合サイトを 4 か月で立ち上げた。事業費用は、交付金を利用し、導入費用、1,674,000 円と保守委託料として年間、648,000 円である。

八代市のホームページを見れば解る通り、温かみがあり親しみやすい。見やすく、使いやすい。年齢別、目的別、対象者別に分かれて検索しやすい。子育て関連施設の情報や結婚から子育てまでの情報が掲載されている。スマートフォンやタブレットでも見やすい。等のコンセプトのもと制作されている。

市民への周知により、月あたりのアクセス数が昨年度に比べ約 50% 増加し、市民への情報の発信がスムーズに行えるようになった。

2年目を迎え、今後さらに周知・広報に努めることと、結婚から子育てまでの情報に加え、子育てに関する市民団体等の情報の更新の体制作りを進める事と各課の連携が課題となっており、問題解決に向け市民の満足が得られるよう進めていくという事である。

加古川市のホームページから、結婚・妊娠・出産・子育てまでの子育ての総合情報を得るのは非常に分かりにくく、探しにくいのが現状である。少子高齢化や核家族化が進む現在に於いては、結婚から出産、子育てまでの情報を簡単に得る事が出来、少しでも安心して若い人が暮らせる様にするためにはきめ細かな支援が必要である。各課との連携を密にし、若者が住みやすい「子育て日本一のまち」に向けての情報発信の手法として大いに学び、真似るべきであると思う。

蛇足であるが、広報ぎふ別冊、岐阜市くらしのガイドも見やすくまた使いやすい広報誌であるので参考にすべきである。

以上

会派行政視察 報告書

志政加古川 松本 裕之

11月15日（火）

宮崎市：宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校について

場所：宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町

九州のほぼ真ん中の山間部

<背景と開校>

五ヶ瀬中等教育学校は、宮崎県が全国に先駆けて設立した公立の中高一貫教育校であります。この背景には、宮崎県が「フォレストピア宮崎構想」を策定したことが大きな要因ではあります。

この構想とは、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村、推葉村をモデル地区に指定し「人おこし、交流促進、産業振興」を基本計画に挙げ、県土の76%を占める森林を切り口とした新しい山村建設を進めていき、最終的には、過疎が進む山林地域に高度な文化を持った地域を創設することで、山村と都市の交流を進め、山村への定住化を図ることにあります。

フォレストピア圏域には、「学びの森」、「すこやかなの森」、「体験の森」、「創造の森」と名付けられた森があり、この「教育の森」において「フォレストピア学びの森学校」として、五ヶ瀬中等教育学校の建設が計画され、県庁内外でいろんな議論が対立するなか、準備委員会発足等進めて行きながら、平成6年4月1日に宮崎県立五ヶ瀬中学校・五ヶ瀬高等学校が開校、同時に文部省研究開発学校に指定されました。尚、五ヶ瀬中等教育学校となったのは、中高一貫教育が法制化され、その新年度を迎えた平成11年4月のことであります。

中高一貫教育とは、受験によって分断されている中学校教育と高等学校教育を接続し、教育課程、進路指導、生徒指導などの面で“継続性”と“一貫性”を持たせた教育であります。

また、宮崎県立高千穂高校五ヶ瀬分校が、平成5年に廃校になり、その跡地を利用できたことも大きな要因の一つではあります。

<運営と特色>

- ・イギリスのパブリックスクールをモデルに、ローカルから国際社会で活躍できる、「野性味あふれるグローバル・リーダー」を育成する学習プログラムにより運営されております。

五訓として、“志忠恕妙気”を掲げ、本気で学び生涯通じて醸成することです。

- ・1学年1クラス40人の少人数教育で、6年制の一貫教育、全生徒240名（男女共学）、全寮制

- ・1, 2年生は、体験学習を主とする、ローカル学
- ・3, 4年生は、課題研究活動を通じてのグローバル学
- ・5, 6年生は、研究実践の成果をグローバルに発信

- ・ファミリー制度

ファミリー制度とは、各学年1～2名、6学年で計7～8名と職員1名によって、全生徒縦割りによる1家族を構成する制度であります。

寮生活ではこの制度により、兄弟、姉妹を作り、班担当の先生がお父さん、お母さんになり、ファミリーで昼食会やいろんなイベントを通して、家庭的な交流を図り、相談にものり、学年を超えた繋がりを築き、コミュニケーション能力や幅広い社会性を生むのに大いに有効です。

- ・進路に関しては、国公立大学合格率、平成27年度は65%、平成28年度は80%と、宮崎県ではNo1であります。他にアメリカの大学に進学したり、医学部や警視庁に進む報告もされました。

<課題～所感>

- ・中高一貫の場合、小学校6年生の段階で中学校だけでなく高校まで選ぶことになります。工業や商業などの専門的なことを学びたい生徒が出てきた場合、学校では対応できず進路変更を思いとどまる生徒が多いことから、今後、普通科以外の様々な学科を備えた中高一貫校が設けられることも必要

- ・ゆとりのある中高一貫教育の6年制による進路への実績に関しては、非常に素晴らしいものがあり、大きな魅力であると感じました。中学3年での受験のプレッシャーをマイナスと見るか、一定の目標を持てる制度として評価するか意見が分かれるところではありますが、選択的導入とのことであれば、各都道府県に1校以上の中高一貫校設立されてもいいのではと考えます。また、グローバルな教育方針についてはこれからの世情を見据えると大いに賛同出来るところであります。



災害情報トリアージについて

日時 平成28年11月16日10時～11時

場所 熊本市役所

市政加古川 建部正人

<概要>

熊本市において、災害情報トリアージについて視察してまいりました。熊本市では、平成24年の九州北部豪雨における豪雨災害を受け、ハード・ソフト面から課題があり、その対策を早急に実施する必要性から、市長より検証部会を立ち上げ、適切な判断・決定が可能となるような体制に改善する為の検証と勧告を求められた。その検証部会による検証結果から、情報のトリアージに必要な体制の整備を求められ、

1. 災害時における膨大な情報の中から、その重要度や優先度を選別し、重要な情報共有や対応が漏れなく実施できるよう、情報のトリアージが可能となる体制を構築すべき。
2. トリアージのミスを補う観点から、極めて重要な情報については、担当幹部同士の直接連絡など情報共有ルートの複線化を行うべき

以上の結果を受け、災害対策本部へ入る情報について、その重要度に応じた情報処理が確実に行われるようトリアージタグに準じた情報記録様式の改善を行うと共に、意思決定作業グループの設置など情報のトリアージとそれに基づく情報分析等が確実に行われる体制の整備を実施していました。それによって、以前よりあった防災情報システムをトリアージに対応したシステム改修を実施していました。

検証部会では、この豪雨災害における熊本市の対応を検証する中で、その時の市水防本部の状態を検証した。住民から「浸水して避難が出来ない」と通報があり、避難発令の判断となる情報に対して、

- ・被害が無いか少ない地域から、早期に大量の情報が寄せられる。
- ・大量の重要度が低い情報の中に重要度の高い情報が紛れ込む。
- ・混乱した対策本部は到着順に処理を行う。
- ・大量の情報処理に時間を要する。
- ・対策本部や現場は迅速な対応をしようとする傾向

等々の課題があり、結果として

- ・少数だが重要な情報の伝達が遅れる。
- ・被害の少ない地域に人員や資機材が投入される。
- ・大きな被害の地域への資源（人、物）の投入が遅れる。

以上のような結果が生じる事となったと検証された。

そして、災害の規模が大きくなると対策本部は、

- ・情報量は規模に比例して増、重複情報も増える。
- ・早期の段階では、未対応の要請が大量に発生する。
- ・防災担当職員は市民からの電話対応に追われる。
- ・被害の重要度ではなく被災者の訴えの強さに左右される。
- ・大量のファックスやメールは無視される傾向
- ・現地対応のキャパシティは考慮されない。
- ・全ての被害者を同時には救済できない事実の認識ができない。
- ・情報の分別不能になり、到着順を優先する。

以上のような状況に陥っていた。その検証の結果、情報の共有・伝達体制・情報の重要度・優先度の仕分け等対策が必要であるとされた。また、問題点として、避難指示等の在り方に関する検証部会の設置もなされていた。

検証部会の報告を受け、熊本市の防災体制強化に向けた具体的対策について対応方針として

1. 情報収集及び共有体制の強化
2. 適切な意思決定の実施環境の整備
3. 情報伝達体制の強化
4. 自主防災意識の更なる涵養

を掲げ、特に2の適切な意思決定の実施環境の整備については、

- ① 災害対策指揮室の設置
- ② 情報のトリアージ（優先度の選別）体制の整備
- ③ 避難勧告等発令基準の見直し
- ④ 防災従事職員のスキル向上のための訓練実施

上記の早期実施を決定していた。そのような状況の中、災害情報トリアージの実施に向けた整備を行っていました。本年の熊本地震においては、この災害情報トリアージが有効に機能したされていまして、地震の被害及び復旧状況についても説明がなされました。

<所感>

熊本市においては、過去の教訓から、災害情報トリアージを実施し、この度の熊本地震に実用的に機能した事は大変すばらしい取り組みであったと思われます。災害時に置ける様々な情報を、いかに対処していくかは、大変重要な課題であります。災害情報トリアージは、情報分別のツールとして非常に有効なものであることは間違いありません。しかし、その情報を判断するのは人間が行います。それ故に、平時の時から災害を想定し、防災従事職員のスキル向上も図って行かなければなりません。熊本市は、収集した情報から意思決定及び応急対応等に必要な情報を選別・整理・伝達・共有する一元的なトリアージ体制を確立し、迅速な

意思決定に資する事としており、災害情報トリアージを重要な施策として位置づけています。また、職員のスキル向上のための訓練も実施していました。

加古川市では、情報の処理対応はどうか、大きな災害には遭遇していないものの、近年では、市内各地で集中豪雨による浸水被害が発生しており、その情報収集の方法や処置については、危機管理室に情報が集められ、緊急性の高い情報は災害対策本部にて判断し、対応する事となっています。また、情報の内容により、各担当課に情報として発信し、担当課の判断で処置しています。危機管理室では、情報の選別・整理・伝達・共有については、課題はあると意識していますが、早急に整備する必要性を感じてはいないようである。熊本市においても、平成24年の豪雨災害を受け、災害情報トリアージの必要性を強く感じ、実施に至った経緯があります。それが、熊本地震に活かされました。このような事例を視察させていただき、なにか災害が発生してから、対処するのではなく、全国の事例を参考にさせて頂き、加古川市として、今、対応しておくべき事は早急に検討していく必要性を感じました。災害対応は、市民の生命と財産を守る行政の使命であります。今後もその必要性を訴え、実施に向かって要望して行きたいと考えます。

行政視察報告書

志政加古川 西村 雅文

年月日：平成 28 年 11 月 16 日

視察先：熊本大学 工学部 百周年記念館

テーマ：2016 NEXT フォーラム 「防災研修 災害から学ぶ」

「防災研修 災害から学ぶ」

13:00 開会・主催者挨拶

○講演会

13:15 「熊本地震対応—その真実と教訓—」

熊本県知事公室危機管理防災課 危機管理防災企画監 有浦 隆 氏

14:00 「実践する危機管理～想定外を想定する T-メソッド・BCP のすすめ～」

自治体危機管理研修所長（元 神戸市役所） 高橋 正幸 氏

14:50 （休憩）

15:00 「防災のユニバーサルデザイン」

LLP ユニバーサルデザイン企画 組合員 代表 梶 紀久代 氏

○パネルディスカッション

16:00 テーマ「災害時の市民、行政、それぞれの初動と避難」

パネラー

～自治体の初動から復旧～ 高橋 正幸 氏

～福祉施設、民間の併設避難所、要支援者の避難～ 梶 紀久代 氏

～初動とボランティアと子どもたちの避難所運営・防犯～ 小池 洋恵 氏

コーディネーター

～大学の避難所～ 本間 里見 氏

17:45 閉会

「熊本地震対応—その真実と教訓—」

熊本県知事公室危機管理防災課 危機管理防災企画監 有浦 隆 氏

「防災」の本質について、熱く語られる講演であった。

防災には、「予防」「応急対応」「復旧」の 3 段階があり、災害を未然に防止し、災害が発生した場合に被害の拡大を防ぎ、災害の復旧を図ること、と定義づけられている。

最も重要なのは「予防」であり、『行政は住民を災いなき地におき、災いの前に逃がす。住民は、疑わしきを察し、災いの前に逃れる』を忘れて、多くの人命が失われてきた。

熊本県防災の根幹的考え方は、「予防的避難を徹底」・「移転の促進」である。「予防的避難」としては、早めの明るうちに逃がす。＝逃げるタイミングを逃がさない。という事であり、タイムラインにも反映させ、熊本県風水害対応のスケジュール管理モデルとして徹底している。「移転の促進」

については、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の住民に対して、全国で初めて、一軒からでも最高 300 万円の移転費用を補助する制度を導入しており、国の制度と併用すれば、最高 1,100 万円の補助が受けられることになっている。

「盲点その 1」として、最大震度 7 を想定しつつ、予防重視の画期的な施策を考案するも、伝統的に地震よりも風水害偏重の意識が強かった為、「指揮（コマンド）概念の導入」「情報共有システム（グループ間）の確立」「初任者（職員）の戦力化」をキーワードに、防災センターの改革を行った。

「盲点その 2」として、プッシュ型支援の教訓を活かし、「リュックにセットでバックで」をキーワードに、モノを渡すときは、人と付属品をセットにする。老若男女用セット箱（リュック）の配布。コンテナ配布車と避難所横付方式の導入等の提案を行った。

「盲点その 3」として、罹災証明の発行や建物被害認定調査等について、市町村にノウハウがなく、災害発生後の行政事務に対する訓練が必要である。

「実践する危機管理～想定外を想定する T-メソッド・BCP のすすめ～」

自治体危機管理研修所長（元 神戸市役所） 高橋 正幸 氏

元 神戸市職員という立場から、阪神淡路大震災と東日本大震災を比較し、被害とその特徴を考察されている。

特に、斎場の管理をしておられた時の様々な体験談は、胸を打つものがあった。

危機管理の実践を目指して、危機を「Risk（平常時）」と「Crisis（緊急時）」との 2 つに分類し、それぞれの PDCA サイクルを検証されている。

また、危機を管理するために「体験的訓練」の必要性を訴えておられ、組織的対応能力と個人的対応能力ともにトレーニングすることが大切で、「想定外」が想定できる危機対応力を目指す、つまり危機管理は日常の備えが重要だと説いておられた。

BCP と BCM（図上訓練等体験的訓練を含む危機管理）として、現実と同じ状況を設定し訓練することの重要性も同時に訴えられた。

危機対応力 4 要素として、①プロフェッショナルとしての知識と技術、②判断力・決断力・実践力、③「説明責任」に応えられる力、④プロフェッショナルの「倫理観」を挙げられている。そして、『モラルハザードの危険性』を強く訴えられ、まとめとして、～減災のまちづくりを目指して～なによりも「まち」を愛し、そなえよつねに、自分の「まち」を知る、自分のまわりに関心を持つ、自分の力で守るために～と言われ、「人生とは、神様から贈られた、ただ一枚の招待状である」という高見 順 氏の詩を紹介され、全体として、日本人の精神的墮落に警鐘を鳴らす御講演であった。

「防災のユニバーサルデザイン」

LLP ユニバーサルデザイン企画 組合員 代表 梶 紀久代 氏

御自身が障がい者である視点・観点から災害を捉えられ、非常に穏やかな語り口で解り易く、様々な問題点について指摘をされた。

阪神淡路大震災の時に、交通事故の後遺症と闘いながらも、支援者として被災地に入られ、避難所に障がい者がいないことに気付かれた。

障がい者が避難所に行けない実態に直面し、「障がいは人にあるのではなく社会環境にある」と考

えられ、『プロジェクト:歩道は誰のもの?』を始められ、モデル地区を作れば必ず変わると信じて、2004年から放置自転車一掃計画を推進される。阪神千船駅周辺・野田阪神駅周辺・難波駅周辺・堺東駅周辺で、放置自転車に対する官民一体となった撤去活動を行い、当初の撤去費用が40億円であったものが現在は2億円と、劇的な効果を上げられている。

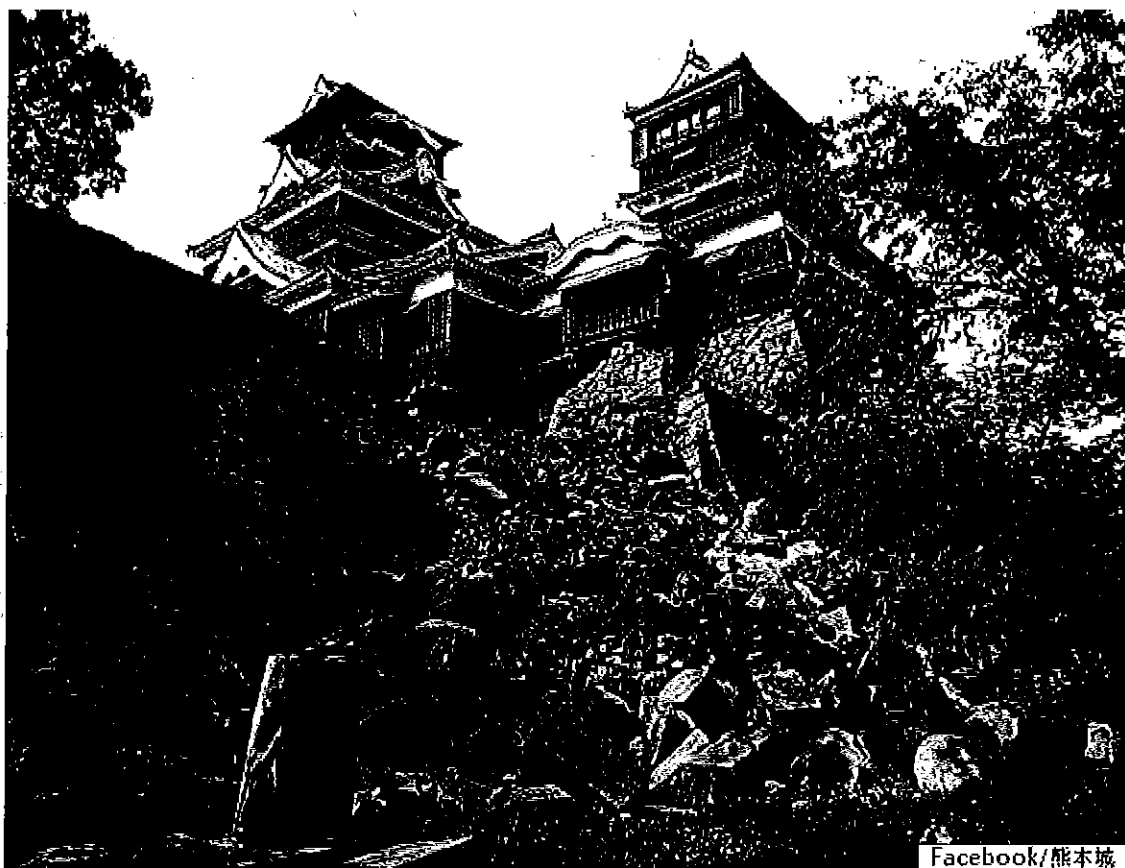
また、タクシー業界と行政との、防災での連携や協定の欠如にも気付かれ、大阪福祉タクシー総合配車センターと大阪府・大阪市・堺市との移送支援の協定締結が実現され、国土交通省のモデル事業第1号となった。

「災害時には命を守るを基本に、要援護者と一緒に安全な所まで逃げる事」を基本理念に、併設避難所の設置を進め、避難所の受付に「お手伝いバンダナ」や「医療バンダナ」を置くことで、判り易くする工夫を提案されており、2016年2月から福祉避難所の開設訓練をし、避難所である学校に平時からインクルーシブ教育の一環として、『ホドウクン ガイドウェイ』が常備し、災害時でもスムーズに利用でき安心して避難できるように取り組んでいる。

また、『災害時避難計画 7W2H』を活用され、「情報は取りに行くもの！ デマに惑わされない！」ように説かれている。51歳の時に車いすを使う身でありながら2004年「プチハウスなな」を起業し、「障害者や高齢者にとって必要なものは、健常者にとっても便利なもの」これをコンセプトに身近な小物から住環境空間に至るまでユニバーサルデザインを提唱。ホテルや公共交通機関のユニバーサルデザインを推奨、ユニバーサルデザインを広める活動を進めている。

いずれの講演も、災害を教訓にして防災に努めることの重要性を学ぶ研修であったが、加古川市で活かす為には、行政を始め市民の意識改革が必要であると改めて感じた次第である。

身近なところから取り組んで行きたいと思う。



Facebook/熊本城

テーマ

「防災研修 災害から学ぶ」

2016 NEXTフォーラム

主催/NEXT熊本

後援/熊本県、熊本市、熊本大学

(株)熊本日日新聞社、(株)熊本放送

日時: 11月16日(水) 13:00 ~ 17:45

※開場 12:30

会場: 熊本大学工学部 百周年記念館

熊本市中央区黒髪2丁目39番1号 南キャンパス

参加無料

定員 300名

《事前申込要》

参加を希望される方は、裏面のFAX用紙がメールにてお申込みください

締切 11/9(水)

13:00 開会・主催者挨拶

講演会

13:15 「熊本地震対応—その真実と教訓—」

熊本県知事公室危機管理防災課 危機管理防災企画監 有浦 隆氏

14:00 「実践する危機管理～想定外を想定するT・メソッド・BCPのすすめ～」

自治体危機管理研修所長(元神戸市役所) 高橋 正幸氏

14:50 (休憩)

15:00 「防災のユニバーサルデザイン」

LLPユニバーサルデザイン企画 組合員 代表 榎 紀久代氏

パネルディスカッション

16:00

テーマ「災害時の市民、行政、それぞれ初動と避難」

パネラー

～自治体の初動から復旧～ 高橋 正幸氏

～福祉施設、民間の併設避難所、要支援者の避難～ 榎 紀久代氏

～初動とボランティアと子どもたちの避難所運営・防犯～ 小池 洋恵氏

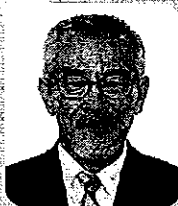
コーディネーター

～大学の避難所～ 本間 里見氏

17:45 閉会

※19:00 ~ 交流会/熊本市内 ホテルレストラン

講演者・パネラー紹介



高橋 正幸氏

自治体危機管理研修所所長
阪神淡路大震災では、神戸市職員として直後の遗体火葬業務の現場調整にあたり、その後、4年間にわたり仮設住宅の調整、被災者自立支援の市責任者として被災者、行政機関、報道との連絡調整にあたった。その体験をもとにロールプレイ危機管理研修T・メソッドを考案・開発し、多くの自治体職員、団体に危機管理研修を行い、神戸市退職後は自治体危機管理研修所を設立、講演活動や研修の指導に取り組んでいる。



榎 紀久代氏

LLPユニバーサルデザイン企画 組合員 代表
阪神淡路大震災の時は、交通事故の後遺症に悩まされ体調不良と相談しながら支援者として入るが、障がい者が避難所にはいない事に気づく。
自身が障害当事者になり、榎メソッドと思考の三次元を使い、言語アーターの分析から、当事者が必要なものを企画・開発・検証を行う。防災のUDを広めるために、講演と体験型学習の活動を実践。



小池 洋恵氏

日本防災士地方議員連絡会九州ブロック事務局長
熊本県内ただ一人の防災士議員(熊本市北区)
熊本県宇城市不知火町出身(元 小学校教員)
「これまでの経歴」: 校区防犯協会長、主任児童委員、PIA 会長、学校評議員、熊本県安全安心まちづくりアドバイザー等、数々の地域活動の経験、20年間子ども達へのバスケットボール指導を続け熊本県青少年健全育成県民賞を受賞



ほんまりけん
本間 里見氏

NEXT 熊本運営企画委員長
熊本大学大学院先端科学研究部 准教授
専門は都市計画学及び建築計画学。特にICTを活用したまちづくり支援手法に関する実践的研究を行っている。近年では、キャンパス等の発展途上国におけるサステナブルな地域開発プロジェクトにも参加している。NPO 熊本まちづくり会会長、宇城市都市計画審議会会長、早稲田大学、独フランクフルト美術大学(建築学専攻) 修士、工学博士。

お問い合わせ

特定非営利活動法人 NEXT 熊本 (NEXT 熊本事務局) / 担当: 坂口

Tel: 096-289-2130 Fax: 096-289-2101

E-mail: nextinfo@nextkumamoto.or.jp

お申し込み

11月9日(水)までに裏面のFAX用紙がメールにてお申込みください。



このQRコードからメールでお申し込みいただけます

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			13
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	費 金 額	円	
	調査研究	9,420	
内 容	視察先(八代市・宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校・熊本市)への手土産代		
支 払 先	(株)春光堂	支払年月日	平成28年11月22日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

領 収 証		No 89124
加古川市議会志政加古川殿		
金	百 拾 万 千 百 拾 円	収 入 印 紙
	¥9420	
但 手土産代		
上記の通り正に領収致しました		
平成28年11月22日		
加古川市加古川町寺家		
株式会社	春光堂	取扱人認印
電話 (079) 423-1123 番(代)		

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			14
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	費	金 額	円
	資料購入		5,724
内 容	放送視聴料 (10月分) BAN-net 15Mコース利用料 10月分		
支 払 先	BAN-BANネット7-7ス(株)	支払年月日	平成28年 11月 28日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く） 裏面に貼付			

〒675-0031

兵庫県加古川市加古川町北在家2000

加古川市役所

志政加古川 玉川英樹

|||||

様

領収書番号 : 3163

領収日付 : 2016/11/28

BAN-BANネットワークス(株)

〒675-0039

兵庫県加古川市加古川町粟津26-2

TEL 0120-34-1442

FAX 079-420-3734

領収書

2016年11月 ~ 2016年11月 領収分

¥5,724-

請求日	項目	請求期間
2016/11/27	BAN-net15Mコース利用料	2016/10/01 ~ 2016/10/31
2016/11/27	コミュニティ利用料1台	2016/10/01 ~ 2016/10/31

経理要領 様式第1号

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			15
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	費 金 額	円	
	備品・消耗品	16,200	
内 容	コピーリース代(10月分)		
支 払 先	神鋼リース(株)	支払年月日	平成28年11月28日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

裏面に貼付

領 収 書



No. 00004696

志政加古川 玉川 英樹

様

2016 年 11 月 28 日

下記金額正に領収致しました。

備 考

取引種類	契約番号	領収回数	支払回数	リース料等	消費税額等	区分	備 考
リース		24	36	15,000	1,200	A3	DocuCentre-V C2275PFS-PC 1 リース料
計				15,000	1,200		領収金額合計 ￥16,200.-

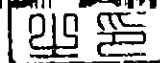
(ご説明) 1. 消費税額等は、消費税と地方消費税の額の合計額です。

2. 区分 A2: 課税(5%) A3: 課税(8%) A4: 課税(10%) B: 非課税 D: 対象外 E: 輸出免税

〒675-0131

兵庫県加古川市加古川新野辺畑下
1525-144 加古川神鋼ビル2階

神鋼株式会社



加古川営業所長

照会先電話番号

079-437-9536

A74-12

収入印紙

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			16
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	資料作成	費 金 額	26,328 円
内 容	コピー代 5,205枚 (10月分)		
支 払 先	富士ゼロックス兵庫(株)	支払年月日	平成28年11月30日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

領 収 証

FX16-1030722

(二)

志政加古川 様

金額 ￥26,328 ※

収
入
印
紙

但し 請求書通り

平成 28 年 11 月 30 日

上記の金額正に領収いたしました。

現金・小切手	¥	※
振 込	¥	※
手形・相殺	¥	※
計	¥	26,328 ※

神戸市中央区浜辺通2丁目1番8-0号

富士ゼロックス兵庫株式会社



扱 者 印



(本証に社印および扱者印の無いもの、並びに金額の訂正したものは無効です。)

志政加古川

様

請求書

発行日：2016年11月02日
請求書番号：761101-0063262

今回ご請求額 26,328円

富士ゼロックス兵庫株式会社

毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。
ご請求内容のお問い合わせ、ご請求の住所、部課名、届け日の変更の際は、下記にご連絡をお願いいたします。

お問合せ番号： 電話：0120-069-840

お支払約束手	2016年11月30日
お支払方法	口座振替
金融機関名	
本・支店名	
預金種目/口座番号	*****
指定口座名	上記、お支払約束手日に口座より引落しさせていただきます。

料金項目/品名	期間/送品NO	枚数/数量	単価	小計(円)	合計(円)
トータルサービス料金	2016/10/01-2016/10/31				24378
黒モード	1か月以上	4058	1.80	7304	
クリエイション	1か月以上	893	14.00	12502	
フルカラー	1か月以上	254	18.00	4572	
ご使用合計		5205			
【代金/料金合計】					24378
【消費税および地方消費税】					1950
【今回ご請求額】					26328
※ご利用機種/機械番号:DocuCentre-V C2275 PFS-PC 602511					
(今回)	(前回)	(テスト)	(ミス)	2016/10/01-2016/10/31	
1 (56856)	52757	0	41		
2 (15758)	14855	0	10		
3 (5144)	4887	0	3		

16500 00908 3304640502 31 1110 0C9
A-062636 0000 3304640502 510 1NK 0000 11040040

3 1 備考：

M1F003

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			17
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	備品消耗品 資料費	費 金 額	円 7,689
内 容	コピー用紙 3箱 ハリナックス 2箱		
支 払 先	(株) フジヤ 號	支払年月日	平成28年 12 月 16
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面のご案内もあわせてご確認ください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ￥7,581
振込手数料 ￥108

お受取人は
銀行
支店

か) フジヤコウ 様

お振込人は
セイカコカフ, カイケイ ニウムラ マサミ
様

お取扱日 28. 12. 16 電信振込
(振込予約 28. 12. 19)

取扱店	番号	年 月 日	時 刻
431	78	28. 12. 16	15:18
		1781	
銀行番号	店番号	口座番号等	
			

印紙税申告
付につき
税務署承認
済

三井住友銀行

伝票No 414327

請求書

STATIONERY & OA



コードNo

加古川市議会 志政加古川

様

伝票区分

売上

担当番

伝票年月日

28.11.2

納品日

本社営業本部 加古川市加古川町北々
〒079-424-2485(代) FAX
技 術 部 〒079-424-2484(代) FAX
スウェーデン 〒079-451-1155 FAX
スウェーデン 〒079-456-0202 FAX
東京支店 〒03-5346-6862 FAX
加古川支店 〒079-456-2565 FAX
〒079-456-2566

品名 規格 数量 単位 単価 金額 摘要

ハイクオリティーパー HQ-500 A4

3 箱

1850

5550

ハリナックス SLN-MSH110LB

2 個

735

1470

備考 西村様

小 計

7020

* 上記の通りご請求申し上げます。

消費税額

561

合計金額

7581

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			18
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	備品消耗品 資料費	費 金 額	円 1,344
内 容	再生PPC用紙 A4 1箱		
支 払 先	(有) 市辺尚文堂	支払年月日	平成28年12月16日
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面のご案内もあわせてご覧ください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ￥1,236
振込手数料 ￥108

お受取人は
銀行
支店

1) イチイッヨウフツトウ 様

お振込人は
ツセイカコカワ、カイケイ ニウムラ マサフミ
様

お取扱日 28.12.16 電信振込
(振込予約 28.12.19)

取扱店	機番	年 月 日	時 刻
43178		28.12.16	15:19
1782			

銀行番号	店番号	口座番号等

三井住友銀行

印紙税申告納
付につき
税務署承認済

代 表 者	経理責任者

支 払 伝 票			経理番号
			19
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	備品消耗品費	金 額	19,440円
内 容	パソコン (CF-LX4EMHCS) 修理		
支 払 先	(株)イナハラ 明石支店	支払年月日	平成28年12月21日
備 考	キーボード破損のため		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

No. 017599

領 収 証

領収日

年	月	日
2016	12	21

印 紙

(第17号文章)

志政加古川 織田正樹 殿

株式会社イナハラ

〒651-0086 神戸市中央区磯上通4丁目1番26号
TEL. 078 (231) 4088

担当者コード

8	9	4	6	1	0
---	---	---	---	---	---

得意先コード 00000000

領収者



金 額	41,944.00
-----	-----------

上記正に領収致しました

領収金額の抹消・改ざん
及びペン書きは無効です

入金種別	①現金 2小切手()葉 3振込 4自動引落 5約束手形()葉 6為替手形()葉 7相 殺
支払期日	平成 年 月 日
支払場所	銀行 支店
振 出 人	殿

上記の金額には¥ 1,440- の消費税が含まれています。

お客様コードNo.0000000

納品書

inahara

伝票No.1506268_1

2016 年 12月 21日

〒

〒673-0018

明石市西明石北町3-5-4

志政加古川 織田 正樹

様

株式会社イナハラ

TEL (078)926-1780 FAX (078)926-1781

担当課: 5001 明石営業課

担当者: 894610

御請求先0000000 締日 5

志政加古川 織田 正樹

TEL:

様

商品名・コード・客注	数量	単位	単価	金額	備考
SPPCC Panasonic Let'note LX4 ノートPC修理	8%	1	18,000	18,000	

課税対象額: 18,000 消費税額: 1,440

摘要:

出庫倉庫: 0500 明石支店

合計

1,440

19,440

発行日 2016 年 12月 21日

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			20
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	費 金 額	円	
	資料購入	5,724	
内 容	放送視聴  11月分 BAN-net 15Mコース利用料 11月分		
支 払 先	支払年月日	平成28年 12月 27日	
	BAN-BANネットワークス(株)		
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			21
会 派 名	志政加古川	年 度	平成28年度
項 目	費 金 額	円	
	備品・消耗品	16,200	
内 容	コピーリース代(11月分)		
支 払 先	支払年月日	平成28年12月27日	
	ネ申金岡リース(株)		
備 考			

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

裏面に貼付

領 収 書



No. 00004719

志政加古川 玉川 英樹

様

2016 年 12 月 27 日

下記金額正に領収致しました。

取引種類	契約番号	領収回数	支払回数	リース料等	消費税額等	区分	備 考
リース		25	36	15,000	1,200	A3	DocuCentre-V C2275PFS-PC 1 リース料
計				15,000	1,200		領 収 金 額 合 計 ￥16,200.-

(ご説明) 1.消費税額等は、消費税と地方消費税の額の合計額です。
2.区分 A2：課税(5%) A3：課税(8%) A4：課税(10%) B：非課税 D：対象外 E：輸出免税

収入印紙

〒675-0131
兵庫県加古川市別府町新野辺畑下
1525-27 加古川神鋼ビル2階
神鋼パイプ株式会社



加古川営業所長

照会先電話番号 079-437-9536

A74-14